

Shogo Hamada

A PLACE IN THE SUN at 渚園

Summer of 1988

全国の映画館で感動をともしにする

浜田省吾 35年の時を経て21世紀によりがえる伝説の野外ライブ

FILMED AND LIVE RECORDED AT NAGISAEN, HAMANAKO 20TH. AUGUST 1988

5.5 (fri) LIVE on THEATERS

Performed by SHOGO HAMADA: Vocals, Harmonica and Guitars
KANJI CHOSHI: Guitars MASAKAZU ITAKURA: Keyboards KUNIHICO RYO: Keyboards
HIROAKI EZAWA: Bass NOBUYUKI TAKAHASHI: Drums TOSHIHIKO FURUMURA: Saxophone
MASAHIRO KOBAYASHI: Trumpet KIMIO MIZUTANI: Guitars PECKER: Percussion

sh-nagisaen1988.jp

監督:板屋宏幸 プロデューサー:岩熊信彦 企画製作:Road & Sky 配給:ライブ・ビューイング・ジャパン 宣伝:とこしえ 協力:Sony Music Labels Inc. ©2023 Road & Sky



23032-A

全国の映画館が35年前の 浜田省吾ライブ会場へタイムトリップ 110分の青春時代がよみがえる BACK TO 1988!

『路地裏の少年』『MONEY』

『僕と彼女と週末に』『ラストダンス』、

そして『明日なき世代』『J.BOY』and more!!

1988年8月20日、静岡県浜名湖畔「渚園」で行われた浜田省吾にとって
三度目の野外ライブ「A PLACE IN THE SUN」。

5万5千人を動員したライブを記録した膨大なオリジナルネガフィルムを
4Kデジタルリマスターと5.1chサラウンドミックスで高臨場感を再現したライブ映像。
35年前の記録映像にも関わらず、まるで当時のライブ会場の空気感を感じさせる
スペシャルなコンテンツに、世代を越えて21世紀の今、感動をともにする。



“あのライブを今、映画館で観ることが出来るのか。それは快哉に似た素朴な驚きだった。”

浜田省吾は86年のアルバム「J.BOY」で初のアルバムチャート一位を達成。88年はその
続編ともいえるアルバム「FATHER'S SUN」を発売して二作連続で一位を記録。88年
のツアーはホール、アリーナを含めた100公演のロングツアーの真っ最中というライブアー
ティストとして最もアグレッシブだった時期の姿がここにある。そして、そのツアーの最中、
89年1月に昭和が終わり平成になった。昭和の最期を飾る「A PLACE IN THE SUN」。
当時のソロアーティストの単独イベントとして最大動員数を記録した日本のコンサート史上
屈指の野外イベントだったが、その割に語られる機会も多くなかったのではないだろうか。
直接現場に足を運んだ東京のメディアや関係者も限られていたように思う。つまり、会場に
いた人以外にその全体像を知る術がないというまさしく「伝説」のライブとなっていた。

今更語るまでもないだろうが、浜田省吾はライブに対しての彼の考え方がある。なぜ映像を
出すことに積極的でなかったか。「ライブとライブビデオは似ているようで全く違うものだと
思う」という89年の雑誌でインタビューに答えた浜田省吾の言葉が残されている。その中
で「渚園」について「この映像を観てあらためてこんなに規模の大きいコンサートだったの
かと驚いた(笑)」という発言があった。

あれから35年。今、あのライブを映画館で観ることが出来るのか、という快哉に似た驚きは
そうした背景があつてこそなのは言うまでもない。

田家秀樹 (音楽評論家 / ノンフィクション作家)

Shogo Hamada
A PLACE IN THE SUN at 渚園
Summer of 1988

監督:板屋宏幸 プロデューサー:岩熊信彦 企画制作:Road & Sky 配給:ライブ・ビューイング・ジャパン 宣伝とこしえ
協力:Sony Music Labels Inc. ©2023 Road & Sky 2023年/日本/カラー/ビスタ/5.1ch/110分

@sh_nagisaen1988 @shnagisaen1988

上映劇場、チケット情報などの詳細はこちら sh-nagisaen1988.jp



5月5日[金・祝]より全国期間限定公開